R7 楡木小学校　学校通信
No.4

なりたい自分になる！

In 楡木サラダボウル

令和７年４月２５日
文責　余宮

ようやく初夏のにおいがしてきましたね。いや、暑いくらいか…季節がわかりにくいと感じる今日この頃です。

学校はちょっと不便に感じるかもしれないが…

本格的な授業が始まり、様々な場面で、子どもたちの豊かな学びが展開されています。ただ、昨年末とちょっと違った光景が見られました。子どもたちの手元には、タブレット端末がありません。実は、今年度がタブレット端末交換の時期になり、昨年度末から子どもたちに貸与する一台一台の設定を行っているところなので、今（４月１５日）は手元にない、ということになります。（現在は順次設定を終えたところから貸与を始めています）

ちょっと不便をかけるかな、と思っていたのですが、学習場面によっては、むしろタブレット端末がないことで集中力が上がっているような姿も見られます。

３年生が理科の授業で春の生き物を探しているようです。ちょっと覗いてみたいと思います。じんさん（仮名）が見ているのは、チューリップ。中におしべとめしべがあって、その大きさや形がちょっと違うようだ。本当かな？お隣のチューリップに目を移してみると、確かにおしべとめしべの大きさが違う。その上、形も随分違っている。さらにじっくり比べてみると、一つひとつはほとんど同じなんだけど、大きさとかちょっとした違いがあることに気づいていきます。個体差だ。

カメラだったら、もしかしたらパシャっと一枚撮って、それを大きくしたり動かしたり切り取ったりしながら学習が進んだでしょう。もしかしたら、隣と比べたり、複数のチューリップを並べて、違いを見つけたりする学習には進まなかったかもしれません。

もちろん、デジタル写真の学習効果を否定するものではありません。ただ、デジタル化の中で、大切だった何かを、もしかしたら落としてしまっていることもあるのかな。

LED（発光ダイオード）という素晴らしい発明があります。これまでの白熱電球や蛍光灯に比べ、消費電力が格段に少なくて長持ちする夢の発明です。この発明に、様々な場面での活用が目に見えて進みました。その一つが、信号機。熊本でも多くの信号機に LED が導入され、軽くて長持ちがするちょっとコンパクトな信号機に変わっていきました。

しかし、雪国の LED 信号機に不具合が起きたとのこと。なぜだろう。

その原因が、LED の消費電力が少ないことだったそうです。白熱電球などにあった熱が、LED では極端に少なくなり、雪国の LED 信号機に雪や氷が付着し、なかなか溶けなくなってしまっていたのです。だから、せっかく交換した LED をこれまでの電球に替えなくてはいけない、という事態に陥ってしまったとのことでした。なくなってしまってわかる、白熱電球のほんのりとした暖かさは、本当の温かさだったんだ。

もちろん、現在はその改善に向けて、雪が積もらないよう斜め下向きに取り付けたり、雪や氷が付着しにくいカバーがかぶせられるなどの工夫がされたりしているそうです。

でも、なくなってみてわかる。その大切さ。一見不便に感じられるその学習にも、それなりの理由があることもある。

学校生活を見渡してみると、昔ながらの不便さが残る場面や場所がたくさんあります。もちろん、これは改善の余地あり、です。ただ、便利な世の中になりすぎることで、人としての生き方や工夫、改善などの努力が忘れ去られはしないかとも思うときがあります。学校の不便さも、ぜひ楽しみながら工夫改善をしていってほしいなと、立ち止まった一幕でした。

※タブレット端末貸与に関しては、設定など様々な面で保護者の皆様のご助力をいただきました。大変ありがとうございました。また、今後もタブレット端末の使い方やマナー、情報モラルの面などの配慮が必要です。どうぞご家庭でも、「楡木小 SNS ルール」などを参照していただき、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。